人工知能やロボットに仕事が奪われるまでのお話

人工知能がターミネーターばりに暴走して、人類を滅ぼすと言うの別の話として、人工知能やロボットによって私達のお仕事にどのような影響が出るのでしょうか？

人工知能やロボットが奪わないと予測されるお仕事は、教師や精神科医、企業のリーダーなど人と人が関わる事が大事になるお仕事や、スポーツ選手や俳優、歌手やお笑い芸人のように、人間の才能を見たり聞いたりして楽しむような仕事、起業家、アーティストや職人のように何かを作る人間は奪われる確率は低いでしょう。他にもどうでしょう？美容師は人工知能やロボットにお仕事を奪われないのではないでしょうか？ロボットに刃物を持たせるのは、手術医がロボットであるのと比べて説明出来ない心理的な恐怖を私個人は感じますと言うように、生き残りそうな仕事は色々とありそうです。

次に、人工知能やロボットが奪う確率が高いお仕事は、手術医からコンサルタントや弁護士など、高度な情報を扱う事を求められるお仕事や、トラックの運転手や飲食店のバイトなどの単調な作業を行うだけのお仕事でしょう。もちろん、今挙げたお仕事でも、どこまで仕事を奪うのか？アシスタントとなるのか？と言う所は議論の余地がありますが。

そして、もちろん、人工知能やロボットに全てのお仕事が奪われる事は、人工知能に人間が統治されない限り、滅ぼされない限りないでしょう。それは、顧客が人間である限り、ロボットではなくて、人間が良いと言う人が必ず居るでしょうから。ロボットではなくて、どこぞやのカフェのマスターにコーヒーを入れてもらいたい、あの人が作った料理が食べたいと言う人も居るでしょうから。しかし、今よりも仕事の数は少なくなると考えるのは妥当でしょう。

「法規制や労働組合が助けてくれる！」と思うかもしれませんが、歴史を勉強して見て下さい。人間よりも経済的な繁栄を選んできたのが人類史です。そして、想像して見て下さい、あなたがコンビニの店長だとして、商品にイタズラをしてツイッターに写真を上げる大学生や、無断欠勤、病気、お客様への対応がゴミな従業員を雇うよりも、従順なロボットを雇う方が変動、リスク、コスト、あらゆるビジネス的な観点からお得だと思いませんか？と言う事は、恐らくあなたは守られない。

他にも手術。命に関わる病気で人間の手術医の手術成功確率が５０％だとして、人工知能の手術成功確率が５１％だとして、どっちを選びますか？１％でも手術成功確率が高い方を選びませんか？

と言う事で、このように人工知能やロボットが繁栄するであろう世の中、特に日本はロボット大国なので、無慈悲に仕事は無くなって行くであろうそんな中で、どのように生き残るのか？

１．人工知能では奪えないであろう職に就く

２．人工知能を管理する立場になる

３．今の内に貯蓄を貯えて、家や土地を買っておく

と言うあたりが妥当な策ではないでしょうか？

ムーアの法則、テクノロジーは恐ろしいスピードで発展しています。だからこそ、私達は環境に適応しながら、それをも上回るスピードで日々の努力を積み重ねて進化するか、適応するしかないのです。

いつまでも仕事があると思う方、フリーターとして好きな事をやれば良いと言う方は真っ先に路上生活を強いられるでしょう。

人工知能やロボットが仕事を補うのか奪うのか、未来は知りませんが、確率として仕事を奪う確率が高く、人類は経済繁栄のために機械化自動化に向かっていると言う事を知る事、そしてそれを知った上で人によっては日々の行動を変えるべきと言うのが今回の動画の要点であり、Hope for the best, prepare for the worst。最悪の事態に備えて準備をするのが大事と言う事です。人工知能やロボットによる最悪の事態とは、それはあなたのご想像にお任せします。